

令和4年度学校自己評価システムシート（県立狭山工業高等学校）

目指す学校像	誠実で創造性に富み、ものづくりをとおしてよりよい未来を実現する技術者を育成する工業高校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立や学習指導と評価の改善を通じて、確かな学力を育成する。 保護者と連携して、規律ある高校生活を実現するとともに、生徒一人一人を大切に生徒指導を推進する。 地域への情報発信や連携を通じて、地域に根ざした学校づくりを推進する。 キャリア教育の充実やものづくりの技術・技能の向上、資格取得を推進し、生徒の進路希望を実現させる。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (1 月 1 6 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領を踏まえアクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善に取り組んできた。観点別評価の実施の年となり、学習評価を含めた授業を確立していく必要がある 来年度の個人デバイス購入に向けて、現状のツールを活用したBYOD化を進める必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の考える力・伝える力を意識した授業改善を推進する 各教科で必要に応じてITを活用したわかりやすい授業を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を意識した授業展開を行う 指導者用の端末と生徒の端末を積極的に活用し、授業改善を行う 新型コロナウイルスに対応したオンライン授業を実践する 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の考える力・伝える力の向上した授業展開を行い、授業を工夫・展開したか 学習評価の充実に向けた観点別評価は実施できたか 生徒アンケートの授業について「とても充実している」「充実している」と回答する生徒を増やせたか BYOD化は推進できたか 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートから、授業が「とても充実している」「充実している」の割合が昨年度と同様に高い水準を維持している。(85%→85%) 特に座学において、プロジェクトやパワーポイントを活用し、よりわかりやすく丁寧な授業を行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートから、依然として授業内容・授業方法の改善の要求が高い。学習評価と一体となった授業改善を検討してゆく。 来年度購入デバイスの活用に向け、学校全体の共通理解を図る必要がある。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートによると、本校に対して「学習習慣・基礎学力の向上」「基本的生活習慣の確立」「専門的知識・技能の育成」に概ね肯定的である。しかし、家庭での学習時間については課題がある 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携して規範意識を持ち、規律ある高校生活を送らせる 「学習」「行事」「部活動」と積極的に取り組ませる。 学校安全を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かく保護者と連携を行い、情報共有することにより、規律ある高校生活を送らせる 積極的に行事に関わらせたり、効果的・効率的な部活動などの参加を通じて、高校生活に充実感を与える 登下校時の交通安全指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートの「授業に積極的に参加している」「計画を立てて自分から勉強している」「授業に合わせて予習・復習をしている」生徒を増やせたか 部活動の参加率は向上したか 登下校時のマナーは向上したか、及び事故件数は減少したか 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立のため、日頃の家庭への電話連絡や家庭訪問など、保護者との情報共有が積極的に行われている。 生徒アンケートから、自宅でパソコン・スマートフォン・ゲームを3時間以上する者が60%以上いる一方、授業以外の学習時間が3時間以上の者は15%となっている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートから、「学習習慣・基礎学力の向上」「基本的生活習慣の確立」「専門的知識・技能の育成」についての本校の取組は概ね肯定的である。(それぞれ90%以上)しかし、家庭での学習時間の短さやスマートフォン・ゲームをする時間が長いなど、課題がある。
3	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、ここ2年は、地域との交流が難しくなっている。また、昨年度は9月の体験入学及び学校説明会が中止になった。そのような環境の中、本校の魅力を伝え抜くことが課題となっている 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流を積極的に推進する 本校の魅力をアピールし、中学生とその保護者に理解をしていただく機会を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 地域から参加依頼があつた時は感染症対策を整えた上で、積極的に参加する 可能な限り学校説明会、体験入学等を実施し、本校に来校し見ていただく機会を確保する 本校をより理解してもらうために、HPを見やすくするなど改善を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのイベント等に参加したか、また行ったか 校内、校外での学校説明会に改善、工夫は行ったか HPの改善やアップデートはできているか 	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントや出張授業に積極的に参加した。特に「狭紅茶」についてはNHKのニュース番組や新聞に取り上げられた。 学校説明会3回、体験入学1回、個別相談会2回実施。特に申し込みについてはHPを活用した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> HP等を活用し、外部に向けて様々な情報をさらに工夫して発信する必要がある。 計画的な生徒募集計画の立案と効果的な生徒募集行事を実施し、入学希望者の増加を目指す。
4	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定率は高い水準を維持している。新型コロナウイルス禍での求人数の減少や世界情勢による産業構造の変化など、危機意識を持って対応する必要がある 保護者は学校に対して進路指導の充実とともに資格取得を望んでいる割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育充実のため、進学・就職ともに早い段階から意識させ、目的を持った高校生活を送らせる 各種コンテストに参加させ、技術・技能の向上を図る 資格取得について保護者にも情報共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と情報共有を行いながら組織的な進路指導を行う 各種コンテストの参加や資格取得など、積極的に勧め、支援する 資格取得について一斉メールで保護者にも伝えるなど、受検機会の確保を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートの「やりたいことがはっきりしている」「候補がいくつかある」生徒を増やせたか 就職、進学ともに第一希望の合格率を増やせたか 資格取得者の割合は増えたか 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートから、「やりたいことがはっきりしている」「候補がいくつかある」生徒の割合はやや増加している。(62%→66%) 進路決定率100%(12月現在) 生徒アンケートから、「いろいろな資格や検定に挑戦している」生徒の割合は横ばい状態である。(12%→12.4%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定率は高い水準を維持している。新型コロナウイルス禍での求人数の減少や世界情勢の影響による雇用の変化など、危機意識を持って対応する必要がある。 保護者アンケートから、保護者は進路指導の充実とあわせて資格取得を望んでいる割合が高い。(計51%)進路実現を踏まえて、資格取得しやすい環境を作る。

学校関係者評価
実施日 令和5年2月20日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートにある、授業の充実度が85%と高いことは素晴らしい。専門高校と言うこともあるが、生徒は学校に誇りを持っていると思われる。さらに授業改善を進めていただきたい。 新学習指導要領にある三つの観点に沿った学習活動や観点別評価を実施しており評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> 家庭での時間の使い方については、生徒にとっては耳の痛い話のようである。特に家庭での勉強時間については、生徒アンケートの結果と保護者アンケートの結果に差があり、保護者アンケートでは勉強時間が短い等の厳しい結果が出ている。 不登校の生徒が中学校でも多い。不登校生徒数の減少等、目標を持って指導をしていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流は地域からの要請があつて行っていると聞いている。大変かもしれないが、できるだけ積極的に参加していただき、お互いにより関係を構築していきたい。 狭紅茶はブランド力があり、地域や学校のPRには大変有効である。是非継続して行って欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス禍の中で進路決定率100%は評価できる。できれば卒業生などセカンドキャリアの人に対する学校からの情報提供はできないか? 定期考査や学校行事と資格取得試験の日程がバッティングすることがあり、生徒がどちらをとるか迷ってしまうことがあった。できるだけバッティングしないように工夫していただけるとよい。